時　々　放　談

〔Arvil News286 号 2019 年 11 月号〕

毎月 15 日発行　㈱ｱｰﾋﾞﾙﾃｸﾉ　編集責任者　熱晴湯之介

横須賀市小矢部 3-6-6　Free0120-4126-50 ☎(046)836-2210 F833-4406
URL http://www.arvil.net/　Mail: info@arvil.net

３ヵ月の気候

気象庁は毎月 25 日に地方ごとの３ヵ月予報を発表している。　地球温暖化の影響で全球的には大気の温度が高く、とりわけ太平洋の中部、西部では海水温が高く熱帯域の北半球では積乱雲の発生が多いそうだから、寒雷と言われる冬の雷が今まで以上に多いかも知れない。　今年は夏が過ぎて秋が無く初冬に入った感がするが、昨今の朝夕はやや寒さを感じるものの紅葉が満足出来ないわけもこうした気象条件なのかも知れない。　今冬は気温高め、降雨、降雪は少ないようだ。

伝統工芸品

日本の伝統工芸品は全国で 1000 点以上と言われ永い歴史の品と近代的な新生の工芸品も多いことに気付かされる。　「伝統工芸品」と言いながら「新生・伝統工芸品」という表現はやや矛盾を感じるが、1974(S49)に現在の経済産業省が 5 要件を明確にして指定されたものは「日本の伝統的工芸品」だ。

その要件を羅列すると①主に日常生活用、②製造過程が手工業的、③伝統技術、技法での製造、④原材料が伝統的である、⑤一定の地域で多数の事業数、従事者があること、だそうで必ずしくも旧くはない。

この横須賀では篤志家、有志などにより「和の文化展」なる企画を立ちあげて絶大な協力者のホテルや公的施設を利用しやや 10 回を数える。

数年前には「絹とよこすか展」などで数日間に亘り本物の蚕で子供たちに驚かれたこともある。

今年も間もなく 2 日間、宣伝力が少なく限られているが、「～江戸に遊ぶ～」というサブタイトルでまさに伝統的な展示がされるので是非ご覧戴きたい。

展示の内容は①パッチワーク　②江戸かんざし　③伊勢型紙　④大津絵のコーナーとなる。

「パッチワーク」はアメリカ生まれと思われるが 16～17 世紀、欧州の貴婦人たちの個性的で高尚な趣味からの出発ともされているが、実はインドお釈迦様の糞掃衣(ふんそうえ)も謂わばﾊﾟｯﾁﾜｰｸであり、多種の布を集めた混紡衣だったわけである。

「江戸簪(かんざし)」は江戸時代に隆盛を極めたものだが古代には髪に刺す 1 本の細い棒は神を宿るお守りとされたことの継承と中国の髷(まげ)の習慣から流れた文化、櫛の変形からの永い歴史だ。

「伊勢型紙」は友禅染、ゆかた、小紋染めに 1000 年の歴史が刻まれている。「大津絵」は徳川時代初期(1624)「島原の乱」に関わる大津絵の仏画が免罪符として使われたとも、その後仏画、風刺画、美人画などとして興隆したものである。11/24~25 ｾﾝﾄﾗﾙﾎﾃﾙ 3F でご鑑賞されたい。

TOPICS

1、業務用　大型浴水循環保温装置　新設工事　町田市Ｔビジネスホテル　10/8～１０
2、台風被害改良修理工事　業務用　大型浴水循環濾過装置
（１）静岡河津　Ａ社員研修寮　（２）千葉茂原Ｋ老人ホーム　（３）静岡韮山Ｂ老人ホーム
3、台風被害改良修理工事　家庭用　浴水循環濾過装置①横浜Ｔ邸　②横須賀Ｔ邸ほか
4、業務用　大型浴水循環装置　新設工事　検査試運転　名古屋市Ａﾎﾃﾙ　10/30